

今春の繁殖調査

エナガ・カワセミ ご注目

毎年繁殖調査を実施していますが、今年はとくにエナガの都心部での繁殖とカワセミの営巣地について注目していきたいと思います。

エナガの都心部での繁殖について

東京のエナガにうごきがあり、23区内で繁殖をはじめていることは、本欄で報告しました〔2008年7月号～2009年4月号〕。そして、その際、近い将来都心部でも営巣を始めるだろうと予想を出していましたが、明治神宮・新宿御苑などでその兆候が見られます。その他の緑地でも同じような傾向がありますので、3～5月ごろに、2羽連れのエナガを見かけたら注意をしておいてください。そして、黒いマスクをした巣立ちピナ〔写真〕をぜひ発見してください。



エナガの巣立ちピナ〔写真・川内博氏撮影〕

カワセミの営巣地調査

いまやカワセミは水辺の普通種といえるほど、各地で見かけることができます。とくに冬場は、どこにも必ずいるといっているほどです。しかし、どこで繁殖しているかということになると意外とわかっていません。とくに巣の場所は明確にされていません。営巣地は、オオタカなど猛禽類と同じように、明確にしない方がいいという考え方もあります。とくに最近、野鳥を標的にしたカメラマンが横行し、



各地でさまざまなトラブルを発生させています。繁殖というデリケートなことに対しても、「人よりいい写真」を撮りたいがために、無謀な行動に出る人もいます。しかし、保護や環境保全の面からいえば、その実態がわかっているならば、問題が発生したとき、適切な方向性を示すことができます。そのためには日ごろからの調査・研究が重要です。

このカワセミの営巣地調査では、巣の位置まで正確に把握することは目的としていません。対象地一帯で、繁殖している確証が得られればいいという段階までを考えています。繁殖の確証としては「餌運び」が第一ですが、「繁殖期に雄雌で生息する」「巣立ちピナに給餌している」なども同等です。繁殖期に長期間見かけた場合は、ぜひ繁殖について調べて、ご報告をお願いします。〔繁殖地図は1990年代〕

御蔵島で観察したシラガホオジロ

記録場所：御蔵島・都道223号の長滝登山口付近

記録日：2011年11月9日

観察・撮影者：田中史雄

観察事項：鳴きながら飛んできて、枯れ木の頂に止まってよく鳴いた。1分半ほどの短い時間だったが、アオジやカシラダカなどとは明らかに異なる声であった。

〔御蔵島のシラガホオジロ・雄〕

